

2020年6月25日

ボランティア活動に携わる学生のみなさん

成蹊大学ボランティア支援センター

所長 光田 剛

ボランティア活動に関する当面の方針について（第2報）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大について、予断を許さない状況であることを考慮しつつ、学生と教職員の安全と健康を守るべく感染防止対策の徹底に努めながら、段階的な入構禁止の一部解除および屋外施設利用に限定した課外活動の再開が発表されました。

これを受け、ボランティア支援センターは学生のみなさんのボランティア活動について、改めて次の方針を定めることといたします。

（1）当面のボランティア活動について

ボランティア活動は、その特質として人との接触を伴う活動が多く、活動内容によっては新型コロナウイルスに感染した場合に重症化の危険性が指摘されている方々を対象とすることも多くあります。

また、大学生が行うボランティア活動には長距離の移動を伴うこともあり、その場合には意図せず感染を拡げてしまう可能性もあります。

こういった特質を踏まえ、特に次に掲げる4つのポイントに注意し、十分に慎重な行動して下さるようお願いいたします。

①【自分自身が感染しないために・（知らずに）感染させてしまわないように】

- ・感染症対策の基本は、日々の体調管理です。活動日だけではなく日頃からの手洗い、毎朝検温などに努めてください。
- ・飲食時以外はマスクを着用するなど、特に咳エチケットに注意してください。
- ・基本的な対策はもちろんですが、クラスターの発生が危惧されるような場所への出入りを控えるなど、まずはみなさん自身が感染しないことに努めてください。
- ・体調や感染への不安が生じた際には、医療機関や保健所、帰国者・接触者相談センター等の適切な機関へ相談することも大切です。
- ・万が一に備えて、ボランティア活動およびその前後も含めて人との接触・行動履歴を記録しておきましょう（ボランティア保険の補償申請を行う際にも求められます）。
- ・自らの体調が優れない時は、躊躇することなく活動を控えるようにしてください。

②【活動中にも感染対策の意識を】

- ・特に対人支援や対面活動については、活動方法等を慎重に検討し行動するようにしてください。
※フィジカル（ソーシャルディスタンス）を保つ活動方法も検討してみてください。
（相手との距離を最低でも1メートル離す・会話時真正面は避ける・飲食時会話を控える 等）
- ・活動の途中でも自らの体調が優れない時は、速やかに活動先担当者へ相談してください。

(季節柄、熱中症などにも気をつけて下さい)

- ・社会福祉協議会などが窓口となって取り扱っている「ボランティア保険」への加入手続きを活動前日までに済ませておくようにしてください(新型コロナウイルス感染症も補償対象です)。
※ボランティア保険に関する質問は、各市区町村の社会福祉協議会へお願いします。

③【適切な情報収集】

- ・ボランティア活動先の感染症対策状況も含めて情報収集や確認を欠かさず行ってください。
(活動先から感染対策に関する依頼や指示等、活動を行う上で遵守が求められることもあります)
- ・自治体や居住地・活動先の社会福祉協議会、ボランティアセンター等が発する情報も有用です。また、状況が急速に変化することもあります。日々更新される情報を注視するようにしてください。
- ・併せて大学やボランティア支援センターが発する連絡や通知も確認するようにお願いします。

④【悩んだらまずは相談】

- ・ボランティア活動に関する相談はボランティア支援センターでも受け付けています。
- ・新型コロナウイルス感染症について相談したいことや、分からないことがあれば大学保健室へ気軽に連絡をしてください。
- ・悩んだときはまずは相談してください。些細な事でも話をすることで安心することが出来るかもしれません。

(2) ボランティア支援センターの対応・利用について

ボランティア支援センターは当面の間、臨時閉室といたします。臨時閉室が継続される間はセンターの利用はできませんが、ボランティア活動等の相談は原則としてメールで受け付けます。必要な場合にはzoomなどオンライン会議システムを用いる対応も行います。

入構制限の段階的な解除にあわせ、本学では6月21日(日)以降、屋外施設利用に限定して課外活動を再開していますが、ボランティア団体等の活動についてもSEIKEIPOTALにおいて学生部から発信される方針に準じた対応を行います。配信された資料を各自確認した上で、希望する者はボランティア支援センターへ必ず連絡をしてください。

(3) 対象期間

本方針については、当面の間継続することとします。ただし自治体や大学の方針および、新型コロナウイルス感染症流行状況によっては、変更する可能性があります。

(4) 各種相談先

○ボランティア活動について

成蹊大学ボランティア支援センター E-mail: : volunteer@jc.seikei.ac.jp

(当面の間、臨時閉室しています。メールで問い合わせてください。)

○新型コロナウイルス感染症等について

感染が疑われる場合は症状や状況に応じてフローを確認し、その指示に従ってください。

大学保健室 URL <https://www.seikei.ac.jp/university/campuslife/hoken/>

相談したいこと・分からないことがあれば大学保健室へ問い合わせてください

成蹊大学保健室 TEL：0422-37-3518

(開室時間は平日の10：30～11：30/12：30～15：00です。土日祝は閉室します。)

本来的なボランティアの意味からすると、ボランティア活動は、社会課題等の解決に取り組む学生各々の自主性・自発性が最大限尊重されるべき行為であると考えています。

一方で、ボランティア支援センターは、大学の附属機関として、学生のみなさんの意思や意欲を重んじつつも学生のみなさんの安全確保を最優先に考えています。また、学生自身が活動先等で感染源となることは絶対に避けなければなりません。感染を防ぎ、感染拡大を抑止することを目的に改めて方針をこの定めることとしました。

学生のみなさんのなかには、この状況下においてボランティアや社会貢献活動への意欲や思いがさらに強くなっている人もいます。しかし、今は慎重に慎重を重ねて自分の行動を決めなければならない時です。今後、ボランティア活動を通して社会に貢献できるタイミングがあるかもしれません。

今回の新型コロナウイルス感染症については、感染しても若年層は無症状・軽症である可能性があり、また、自覚しないうちに感染を拡げてしまう可能性があると言及されています。第一に安全確保のために行動を慎重にして、新型コロナウイルスへの感染や拡大防止に努めてください。

以上